

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2025年 6月 10日	
山口県知事 村岡 嗣政 殿	
提出者 住 所 山口県光市浅江四丁目2番1号 氏 名 日鉄溶接工業株式会社 技術本部 生産技術部 光工場 工場長 丸山 和位 電話番号 0833-71-3390	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	日鉄溶接工業株式会社 光工場
事業場の所在地	山口県光市浅江四丁目2番1号
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	伸線業
②事業の規模	製造品出荷 126億円
③従業員数	214人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥①：線材表面処理⇒水洗⇒廃水処理場⇒中和⇒凝集沈澱⇒脱水⇒乾燥⇒業者処分 汚泥②：線材の伸線加工⇒潤滑剤劣化⇒潤滑剤更新⇒業者処分 汚泥③：フラックス⇒混合⇒溶接棒被覆材⇒塗装機⇒集塵機⇒業者処分 廃アルカリ：心線⇒被覆材⇒塗装機⇒不良等⇒業者にて焼却処分 廃油：伸線機⇒初頭及び仕上潤滑剤⇒劣化⇒業者にて燃料化処分 木クズ：製品⇒パレット積載⇒出荷⇒パレット返却⇒破損⇒業者処分 図1～3に示す

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 統括責任者 所属：光工場 職・氏名：工場長 廃棄物管理担当 組織名：生産技術グループ 職・氏名：生産技術グループ 員 組織人数：8名 環境管理委員会 委員長-工場長、委員-各グループ 長・主幹・主査 事務局-生産技術グループ 事務局長 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・ 廃棄物処理計画の作成、廃棄物管理状況の把握と改善案の検討 ・ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び委託契約書の作成管理 ・ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ・ 監督官庁への各種報告 ・ 社員、関連会社に対する教育・啓発			
図 4			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥 ①排熱利用による汚泥の乾燥		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2-1	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 汚泥 ①排熱利用による汚泥の乾燥		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥①②③等各種類毎に保管場所を区分して専用置場に保管 廃油及び廃アルカリ、廃パレット他についても専用置場に保管		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥①②③等各種類毎に保管場所を区分して専用置場に保管 廃油及び廃アルカリ、廃パレット他についても専用置場に保管継続		

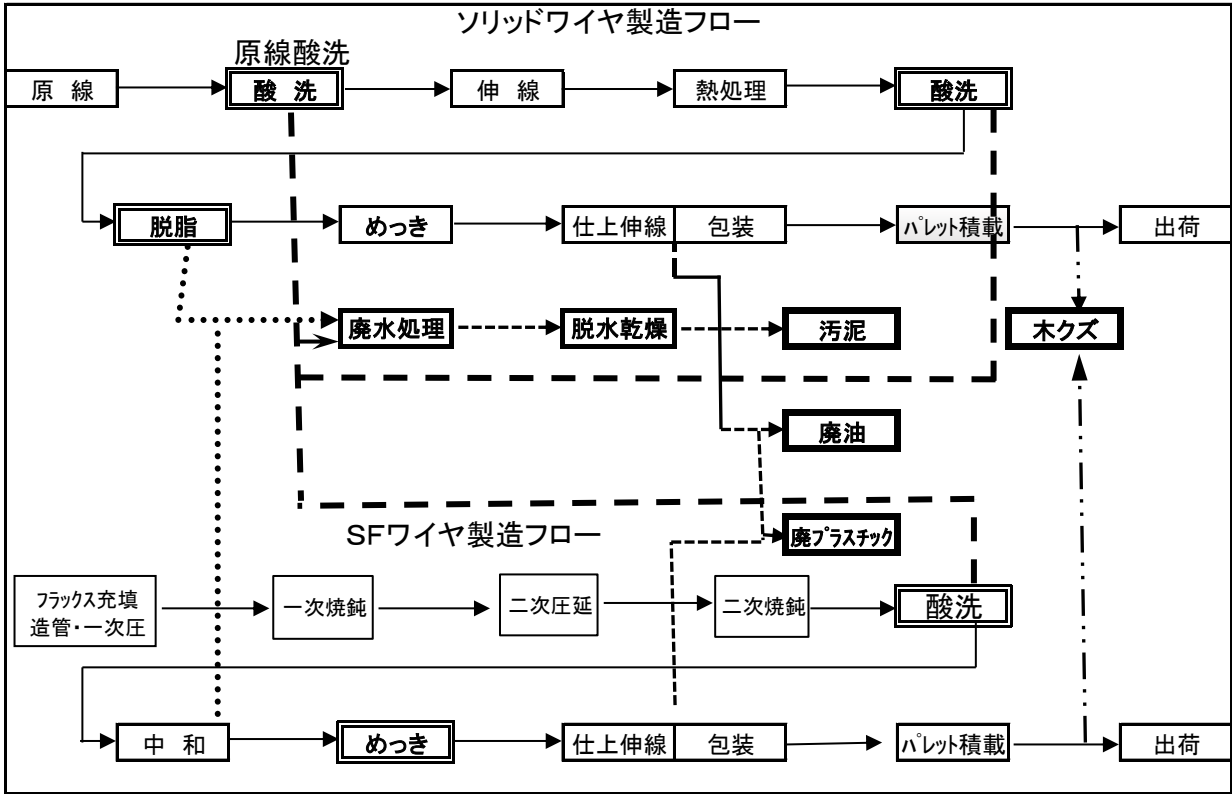
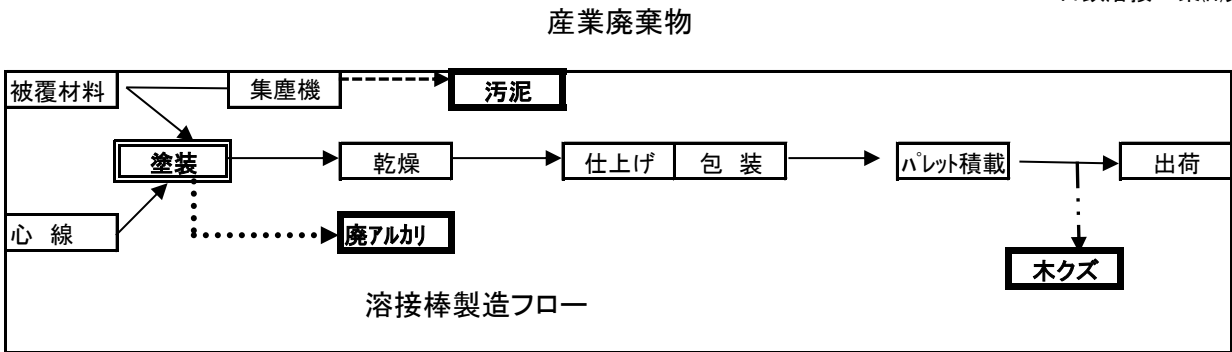
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	特に無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特に無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 特に無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2－1	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 特に無し		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙 2 － 1	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	優良認定処分業者への処理委託の推進		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



発生源	廃棄物	処理区分
---委託処分		
溶接棒製造工程	汚泥	最終処理(埋立) 614.94t/年
		中間処理(再利用) 104.4t/年
溶接用ワイヤ製造工程	木クズ	中間処理(コンクリート固化) 227.3t/年
	廃プラスチック	中間処理(破碎) 151.04t/年
		中間処理(選別・焼却) 45.12t/年
管理型混合廃棄物		最終処理(焼却) 2.59t/年
	廃油	中間処理(再生) 8.16t/年
電池類		中間処理(選別) 0.1t/年
		中間処理(選別) 0.2t/年
ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず		最終処理(埋立) 0.31t/年
		中間処理(再生) 1.79t/年
酸性廃液		中間処理(再生) 0.34t/年
廃電気機械器具		中間処理(選別) 0.12t/年
安定型混合廃棄物		中間処理(選別)

日 鉄 溶 接 工 業 (株) 光 工 場 公 害 防 止 組 織

図4
2025年6月10日

光市浅江四丁目2番1号
日鉄溶接工業株式会社
光工場



多量排出事業者の産業廃棄物処理計画書(補足)(2025年度計画)

別紙2-1

多量排出事業者 名 称	日鉄溶接工業株式会社 光工場	所在地(市町名)	光市	事業の種類	伸線業
-------------	----------------	----------	----	-------	-----

(単位:トン)																					
区分	種 類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
		排出量		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
		現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
	汚泥	946.59	937.12	0	0	0	0	0	0	0	0	946.59	937.12	946.59	937.12	104.37	103.32	0	0	0	0
	廃油	8	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8	8	8	8	8	0	0	0	0
	廃アルカリ	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	18	18	18	18	18	18	0	0	0	0
	廃プラスチック類	47.71	47.23	0	0	0	0	0	0	0	0	47.71	47.23	27.44	27.16	0	0	0	0	0	0
	木くず	151.04	149.53	0	0	0	0	0	0	0	0	151.04	149.53	148.72	147.23	0	0	0	0	0	0
	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	がれき類																				
	電池類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	蛍光灯																				
	廃電気機械器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃酸	1.79	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.79	0.00	1.79	0	1.8	0	0	0	0	0
	安定型混合廃棄物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	管理型混合廃棄物	23.84	23.60	0	0	0	0	0	0	0	0	23.84	23.60	0	0	0	0	0	0	0	0
	計 (A)	1,199	1,185	0	0	0	0	0	0	0	0	1,199	1,185	1,151	1,137	133	129	0	0	0	0